

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年 12月 13日

事業所名:児童放課後デイサービスらいずわ〜く

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	小学生と中高生が同一部屋内で分けた場合は狭く感じるときがある。	○:19人 △:6人 わからない:1人	小学生と中高生を分けるのに仕切りを入れたり別の部屋などで対応できるように工夫していきます。
	2 職員の適切な配置	個別で対応する利用者が増えると対応が厳しく感じられる。	○:20人 わからない:6人	職員の増員なども検討していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所が2階にあるため階段の利用がある。現状はケガなどは発生していない。	○:14人 △:3人 ×:2人 2階の階段 わからない:7人	引き続き職員の見守りや声掛けなどをし事故がないように注意していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃は行っているものの、マットなどが経年による汚れがある。	○:19人 わからない:7人	消耗品などについては交換していき清潔さを保っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	年間の目標設定や定期的なミーティングを設けている。		職員間での共有はできているが外への発信までにはいたっていないので発信できるようにしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		今後、検討していきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部、外部の研修を行っている。		継続して行っています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントについて職員が共通してのツールがない。個人レベルでのアセスメントになっている。		共通のアセスメントツールを作成していきます。計画書は丁寧に説明できるような時間を確保していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の状況などを見ながら作成している。	○:20人 △:1人 計画表をある時期から目にした記憶がない ×:1人 わからない:4人	引き続きスタッフ全員で状況を見ながら必要に応じて作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画書や日々の連絡帳などにも記載して行っている。		継続して行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に合わせた支援を実施している。	○:22人 △:1人 わからない:3人	モニタリングで達成できるようにスモールステップに気を付け支援をしていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的なミーティングで話し合い検討している。		日々の支援の中で出てくる課題などにも注目しプログラムを導入していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇では特別プログラムを実施している。	○:22人 わからない:4人	平日にできることや休日にできることなどを考え検討していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムは固定されているがブラッシュアップしている。		引き続き必要なことを盛り込んだプログラムを提供していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、朝礼を行いその日の事を確認している。		継続して行っています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	ほとんどが雑談での共有になっている。		引き継ぎノートなどを活用して共有できるようにしていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	定期的なミーティングで行っている。		継続して行っています。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	支援会議を設けモニタリング、計画書の立案などを行っている。		継続して行っています。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議の参加はないが、あれば担当者が参加するようにしている。		サービス担当者会議に呼ばれた時に、担当者が困らないようにスタッフ全員で子供の様子などを把握できるように努めていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当する児童がいません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当する児童がいません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	一部の子供には対してはできているが大半の子供にはできていない。		情報共有には努めていけるように連携していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	当事業所をやめられる際(学校卒業時)には情報提供書を作成している。		今後も継続して情報提供書を作成し次につなげられるようにしていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	一つのケースでは連携している。研修会にも参加している。		必要に応じて連携していきます。継続して研修会にも参加していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	出来ていない。	○:6人 △:2人 ×:3人 わからない:15人	地域の放課後児童クラブや児童館などを知らないのでもまずは知ることから始めていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	「caféらいず」という保護者の集まる会を開催して地域の方にも参加してもらえる場所を提供している。		引き続き「caféらいず」を実施し地域に開かれた事業所運営をおこなっていきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時や契約時に説明している。	○:25人 未回答:1人	引き続きしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	説明を行っている。	○:22人 △:1人 わからない:2人 未回答:1人	継続して行っていくが丁寧に説明できるような時間の確保などにも努めていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	「caféらいず」を開催し、その中で子供とのかかわり方など保護者と共有している。	○:16人 △:2人 ×:1名 わからない:7人 ・障害年金の専門家のお話は大変参考になりました	引き続き定期的な保護者の方とのかかわりをしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳、ライン@などを活用して保護者と連絡を取っている。会えば直接話をすることもしている。	○:21人 ・できているのではないかと思う ・ノートで交流 △:4人 わからない:1人	継続して行っていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談されれば当事業所での子供の様子などを伝え対応している。	○:17人 △:3人 ×:3人 わからない:3人	保護者の方から信頼されるように寄り添っていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	「caféらいず」を開催し、その中で保護者同士の交流の場を提供している。	○:20人 △:1人 わからない:5人	引き続き開催していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に説明をしている。	○:17人 △:1人 わからない:8人	契約時の説明と迅速に対応できるように職員間でも共有できるように努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者の方にはライン@や連絡帳などでやりとりをしている。子供には個別に合わせた対応をしている。	○:21人 △:1人 わからない:4人	引き続き行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、プログラムスケジュールなどを作成し各ご家庭へ渡している。	○:22人 わからない:4人	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員の入職時に誓約書を交わしてる。個人ファイルは鍵付きの書庫に保管している。	○:16人 △:2人 わからない:8人	継続していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員間での共有はできているが保護者の方へは周知できていないのが現状。	○:12人 △:1人 ×:2人 わからない:10人 未回答:1人	契約時に説明していき、必要に応じて張り出しなども行っていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害についてはプログラムで伝えていっているが保護者の方には伝わっていない。	○:4人 △:1人 ×:3人 わからない:18人	避難訓練の実施などを増やしていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部の虐待研修へ参加している。		引き続き参加をしていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明をしている。		引き続き契約時に説明をしていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食べ物などを提供することはないが利用開始時に聞き取りは行っている。場合によっては医師の指示書をいただいているケースもある。		継続して利用開始時に聞いていくようにします。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間での共有はできている。		具体的なデータなどでは残していないので検討していく。